

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜市立岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和7年2月12日（水）13時30分～15時00分
- 3 開催場所 本校 会議室

- | | | | |
|-------|-----|-------|------------|
| 4 参加者 | 会 長 | 竹本 康史 | 岐阜聖徳学園大学教授 |
| | 委 員 | 桐生 伸治 | 鏡島自治会連合会会長 |
| | 〃 | 臼井こずえ | 西児童センター所長 |
| | 〃 | 松井 久美 | 前PTA副会長 |
| | 〃 | 古川 和宏 | PTA会長 |

<学校側>

- | | | |
|-----|-------|--------|
| 副会長 | 長澤 紀明 | 校長 |
| 委 員 | 武藤 純二 | 教頭 |
| 〃 | 野村 昌史 | 教務主任 |
| 〃 | 鈴木 由華 | 生徒指導主事 |
| 〃 | 澤田 幸男 | 進路指導主事 |
| 〃 | 石垣 貢 | 特別活動部長 |
| 〃 | 平松 京美 | 商業科主任 |
| 〃 | 寺澤 裕紀 | いじめ対策監 |

- 5 目 的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。

6 会議の概要（協議事項）

（1）令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書について

意見1：今後も、先生方が生徒たちに丁寧に寄り添うことができれば、生徒との信頼関係が生まれ教育活動で大きな成果をあげることができる。また、外部との連携でさまざまな人や状況を経て、コミュニケーション能力、仲間と協働する力、起業家精神等を身に付けている。このような体験は、今後に繋がる貴重な力となる。

意見2：学校関係者評価の12月集計結果について、7月と比較して保護者や生徒の回答者数が大幅に減少しているのはなぜか。

⇒教室でのQRコード掲示や連絡アプリを活用して回答を促したが、無記名のアンケートのため回答者数が減少したと考えている。来年度は、実施方法や回答方法などを検討し保護者や生徒の回答者数が増加するようにしたい。

意見3：生徒は気持ちの良い挨拶ができている。生徒指導部の課題である自転車のヘルメット着用については、生命に関わることであるため、今後も、地道に啓発活動等を実施し着用率の向上を目指してもらいたい。

意見4：学校関係者評価の集計結果から、保護者と生徒との家庭での会話が少ないように感じる。教育活動のあらゆる場面で家庭での会話の大切さを伝えていくとよい。

意見5：自治会や小・中学校などと連携した取組は、生徒たちの豊かな発想力と主体的に活動する姿を見ることができとても素晴らしい。今後の継続した取組を期待している。

意見6：生徒と一緒にいった活動から、生徒たちの素敵な笑顔をたくさん見ることができ、とても穏やかな学校生活を過ごすことができていると感じている。これは、日頃の教育活動の大きな成果である。

意見7：生徒の価値観や意識が多様化していく状況の中で、先生方が柔軟な発想力や創造力を発揮し創意工夫を凝らした取組で生徒の育成ができている。

意見8：自転車ヘルメットの着用率を向上させるためにも、交通事故の恐ろしさを身近な事として考えられるような方策を検討するとよい。

意見9：闇バイトや違法薬物に関しては、生徒が被害者にも加害者にもならないために、SNSの正しい使い方の指導や法令遵守の指導に、より力を入れてほしい。

意見10：就職内定率100%は評価できる。特に、入社試験等での面接においては、学校生活や部活動での経験した事を深く掘り下げて質問される。教育活動のさまざまな場面において表現力の育成に努めるとよい。

意見11：外部と連携した取組によって、社会で必要な力を身につけることができている。また、そのような取組をとおして「市岐商ブランド」に誇りを感じてもらいたい。今後の取組にも期待している。

意見12：取得を目指す資格が社会のどのような分野で必要となり役立つのかをより明確に伝えることができれば、取得率の向上や主体的に進路選択をすることにつながると考えるがどうか。
⇒資格取得の意義等は、4月当初の授業や進路に関するLHRなどで伝えている。あらゆる場面で機会をとらえて話すことができるよう全職員に周知していきたい。

(2) 特別活動部、いじめ対策監、デパート部からの報告

意見1：地域の方から「市岐商デパートに行ってきた、とても良かった」という意見をたくさん聞いた。また、今年は地元の小学校が参加したおかげで中学校もやってみたいという意見もあるため、来年度以降新しい取組を連携して実施できるとよい。

意見2：「市岐商デパート」当日のオープニングセレモニーに関して、体育館入口付近でやっていたが、後ろの方で並んでいるお客様には様子が分からなかった。顧客満足度を高めるためにも実施場所等を検討するとよい。

意見3：市岐商と言えば“市岐商デパート”である。ホームページやSNSを活用した広報活動などを積極的に行うことが大切だと考える。

(3) 「総合的な探究の時間」の参観

(4) 来年度に向けての意見交換等

意見1：地域行事に部活動の生徒が参加した際に、子どもたちがとても喜んでいて、今年は、本当に多くの生徒たちが地域行事に参加してくれて本当に感謝している。来年度以降も地域と連携した取組に期待しているし、何かあればいつでも協力したい。

意見2：今後のさまざまな場面で活用するプレゼンテーションの際の声の大きさや抑揚、表情やジェスチャーなどの技法を各教科の授業で指導するとよい。

意見3：学校は、地域から愛され信頼されることが大切である。地域と連携した活動において年代を超えた取組により、次世代育成に繋がる教育の基礎づくりになっていることがうかがえる。

意見4：生徒は、成功体験だけではなく失敗することでも成長することができる。失敗した時にこそ、原因や自分自身を追求できる生徒の育成が大切である。

7 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会において、各委員から忌憚のない、また的確な意見が得られた。様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。